



### キツネアザミ (狐薊) <キク科・キツネアザミ属>

道ばたや田畑、空き地に見られる高さ 60~80 ㍍の 2 年草。茎は真っ直ぐに立ち、上部で枝分かれし、5~6 月、枝先に直径 2 ㍍ほどの薄紫色の多数の頭花を付ける。葉は深く切れ込み、裏面には白い綿毛が密生する。史前帰化植物の一つとされ、古代に農耕と共に日本に渡来したと考えられている。名の由来は、アザミに似るが、よく見るとそうでないことがわかり、狐にだまされたという意味の説や、花の形が眉刷毛まゆはけに似ていることからキツネノマユハケ、またその名がマユハケアザミとも呼ばれ、転じてキツネアザミになったなど諸説ある。アザミに似るが刺がない。・・・▼緑しな滴る新緑の季節を迎えている。ツバメが飛来し、ホトトギスの声が響き、山々は見るほどに溜め息が出そうなほど美しい。そんな中、薄紫の花を空に向け、キツネアザミが気持ちよさそうに静かに揺れていた。▼平和な日本に暮らし、春を待ち望んでいるだろう 戦禍のただ中にあるウクライナに思いを馳せる。人の痛みや悲しみに決して鈍感でありませぬように。 ~2022 年 5 月湯来町~